

秋田県

(全域)

環境に優しい 省力・低コスト防除技術「あきたecoらいす」

【1. 概要】

- ・ 水稻において環境にやさしい省力・低コスト防除技術 (IPM防除技術) を活用し、農薬成分回数を半分以下に減らした「あきたecoらいす」を生産・販売
- ・ 普及率はH24年度14%、H26年度22% (目標: H29年度45%)

【2. 実践内容】

(1) 取り組みの背景、経緯

- ・ 消費者の安全・安心で低価格な農産物志向と、生産者の省力・低コスト技術のニーズが高まっている
- ・ 農業試験場における「いもち・斑点米カメムシ類省力型防除体系」を確立した
- ・ 消費者と生産者のニーズに応じて、さらに環境にやさしい防除技術である「あきたecoらいす」をスタンダード化することに決定した

(2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・ 県が政策目標として普及率を示しながら、普及指導センターは実証・展示等の技術的支援をし、JAグループ秋田等が生産・販売を行うよう役割分担を明確にした (図1、2)
- ・ 県育成新品種は「あきたecoらいす」防除体系を前提として、産地を限定してブランド化を図っている



図1. 「あきたecoらいす」の実証圃



図2. 「あきたecoらいす」のロゴと展示販売

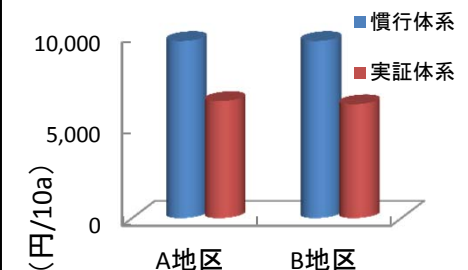


図3. 実証地区の農薬費の比較 (一例)

【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・ 農薬費や労働費の削減、農薬使用量の削減による環境負荷の低減 (図3)
- ・ 商標登録により統一ブランド化することで消費者への訴求力を向上

【問い合わせ先】

農林水産部水田総合利用課
電話: 018-860-1785